

型崩れしにくく、アイロン不要

～洗える紳士用スーツの品質テスト～

紳士用のスーツは毛製品が多く、水洗いをするとうち縮したり、風合いを損ねたりすることから、ドライクリーニングをするのが常識とされています。しかし、クリーニング代の節約になり、汚れ落ちがよいことから、家庭用洗濯機で洗える紳士用スーツが販売されています。そこで、実際に家庭用洗濯機で洗い、洗濯後の型崩れなどについて調べました。

テスト品目

家庭用洗濯機で洗えることをうたっている紳士用スーツ5銘柄、参考品として水洗い不可の取扱い絵表示があるスーツ2銘柄。いずれも夏物、2011年8月購入。

テスト結果

○耐洗濯性

一般社団法人繊維評価技術評議会で作成されたWHS（水系洗濯性能を有する繊維製品）の毛素材の評価基準で評価しました。洗濯後の型崩れ等を5～1級の判定写真と比較して評価するもので、数値が大きいほど良い評価とされます。

●**外観保持性（型崩れ）**＝WHS基準では、洗濯3回後の評価で3級以上としています。洗えるスーツと参考品のNo.7については、洗濯10回後の評価でいずれの部位も3級以上であり、基準値内でした。参考品のNo.6は1回の洗濯で、基準値以下の結果となり、型崩れが認められました。

●**シームパッカリング**（縫目線の周辺に生じる縫いつれや縫いじわ）＝WHS基準は4級以上。洗えるスーツ5銘柄は洗濯10回後の評価でいずれの縫製部にも4級未満となるシームパッカリングは見られませんでした。参考品のNo.6とNo.7は洗濯1回後に基準値以下のシーム



洗濯してもしわの寄らない洗えるスーツ(左)、しわの寄った参考品(右)

パッカリングが見られました。

●**スラックスの折り目の保持性**＝WHS基準は4級以上。洗えるスーツ5銘柄と参考品のNo.7の評価は、洗濯10回後も4級以上であり、折り目が保持されていました。参考品のNo.6は洗濯10回後にはほぼ折り目が消失しました。

○アイロン仕上げの必要性

アイロンの必要性を5人のモニターに聞いたところ、洗えるスーツのNo.1、2、3、5は洗濯10回後の評価において、全員が「アイロンがけの必要はない」、または「気になる部分はあるがアイロンがけの必要はない」と答えており、おおむね良好でした。No.4は洗濯10回後で1人が「必要」と答えています。

○乾燥性

洗えるスーツのうち組成が毛50%・ポリエステル50%のNo.1～4は、上衣、スラックスいずれも180分以内で乾燥しましたが、組成が毛98%・ポリエステル2%のNo.5は上衣240分、スラックス210分と時間がかかりました。参考品の組成が毛100%のNo.6は上衣が300分、スラックスが270分と乾燥に時間がかかりました。組成が毛50%・ポリエステル50%の参考品No.7は上衣240分、スラックス180分であり、組成が同じ洗えるスーツよりも長い傾向にありました。

●テスト品とテスト結果

No		組成表示	銘柄名	表示者名	購入店名	購入価格 (円)	原産国	外観保持性 (平均、級) ※1	乾燥時間 (分) ※2
1	家庭用洗濯機で洗える紳士用スーツ	表地=毛50%、ポリエステル50% 裏地=ポリエステル100%	giuseppe	(株)ケービーワールド	イオン札幌元町店	9,800	中国	4.1	180 180
2		表生地=毛50%、ポリエステル50% 裏地=ポリエステル100%	SAVOIA	株式会社イトーヨーカ堂	イトーヨーカドー札幌店	14,900	中国	4.0	180 150
3		表地=毛50%、ポリエステル50% 裏地=ポリエステル100%	ROCHI	日本アパレル産業協会	(株)AOKI環状通東店	18,900	中国	3.8	180 150
4		表地=毛50%、ポリエステル50% 裏地=ポリエステル100%	nexstage	全日本紳士服産業協議会	エフ・ユニット新道東店(はるやま)	18,900	中国	3.6	180 180
5		表地=毛98%、ポリエステル2%(装飾糸として使用) 裏地=胴裏ポリエステル、袖裏キュブラ	REGAL	全日本紳士服産業協議会	洋服の青山札幌中央店	45,800	ベトナム	3.5	240 210
6	参考品	表地=毛100% 胴裏=ポリエステル100% 袖裏=キュブラ100%	DILETTO	日本毛織株式会社	エフ・ユニット新道東店(はるやま)	25,725	中国	1.4	300 270
7		表地=毛50%、ポリエステル50% 裏地=ポリエステル100%	HARVEY CENTRAL	全日本紳士服産業協議会	イオン札幌元町店	9,800	中国	3.3	240 180

※1 10回洗濯後 ※2 上段の数字は上衣、下段の数字はスラックス

表示

洗えるスーツ全銘柄の下げ札と縫い付け表示に、取り扱いに関する詳細な記載がありました。絞り方についてNo.2、4、5は取扱い絵表示が~~絞~~(絞ってはいけない)にもかかわらず、「脱水」の記載があり、No.1、3は~~弱~~(手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は短時間で絞るのがよい)とあったが「手絞りは避けてください」と異なる記載がありました。

まとめ

- 洗えるスーツは洗濯10回後も外観保持性、シームパッカリング、スラックスの折り目において、参考品と比較すると明らかに優れていました。
- 洗えるスーツは参考品に比べ乾燥時間が短

い傾向にあり、洗濯後にアイロンがけの必要性が低いことが分かりました。

- 洗えるスーツは、下げ札や縫い付け表示の文言と取扱い絵表示の記載に異なる表記があり、消費者が混乱するおそれがあるので統一した表示が望まれます。

消費者へアドバイス

- 洗えるスーツは、表示に従って正しく洗濯をした場合、問題なく着用できると考えられます。洗濯後、アイロンがけをしなくても着用可能ですが、しわ等が気になる場合は、布を当てて中温(140℃~160℃)でアイロンがけするとよいでしょう。洗濯機による水洗いは、ドライクリーニングでは落ちにくい汗など、水溶性の汚れの除去に有効だと考えられます。